

令和5年度の教育活動について、教職員による自己評価を行いましたので、下記の通り公表いたします。

1. 本園の教育目標

・「あかるく」「ただしく」「なかよく」の実践

1. 知識及び技能の基礎を身につける

豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かったり、できるようになったりする。

2. 思考力、判断力、表現力等の基礎を身につける

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

3. 学びに向かう力、人間性等の基礎を身につける

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

・園児が安心して多くの経験を得て、成長できる安全な教育環境の整備

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育環境を見直し、改善を図る	B	幼児の具体的な姿をもとに教職員が話し合い、評価、課題抽出、改善を実施した。
2	安全環境の改善のために、園内研修を充実させる	B	年5回の園内ワークショップ、巡回相談を活用して環境の改善につなげられた。
3	多くの経験を得られるよう教育課程や行事を見直す。	A	教職員により教育課程、行事を見直し、園外のスポーツクラブでのプール指導、ストライダーの導入、運動会種目の見直し等を行い、運動能力の向上に資することが出来た。。

評価 A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	それぞれの評価項目に対して正職を中心とした教職員で評価、見直しをすすめ、具体的な改善をできた。今後はさらに教育環境を充実させるため、より多くの声を集めて環境の改善を推進していきたい。

評価 A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育機能の充実	保護者、地域の保育ニーズにこたえるため、実態の調査をして分析、実践をして保育機能を保持向上させる。
2	安全管理	災害、緊急時のマニュアル等を教職員間で共通理解し意識の向上やマニュアルの改善をする。
3	幼小接続	保幼小連絡協議会を活用し、具体的には屋城小、前田小、東秋留小の教職員と具体的な話し合いの場を持ち、教育の接続を図る。

6.学校関係者評価

上記の自己評価を受けて、父母の会役員による学校関係者評価を受けましたので、公開いたします。

①学校関係者評価 父母の会役員により評価

②評価及び講評

	評価項目	評価	評価の理由
1	教育環境を見直し、改善を図る	A	日々の保育、行事について先生方が話し合いを行って、よりよい教育環境を目指していると感じます。子どもたちのことをよく見ていただいています。セントラルでのプールの回数を増やしてもらえてよかったです。水に慣れてきました。保育を必要な家庭は増えているので、これから保育機能、環境を整備してほしい。
2	安全環境の改善のために、園内研修を充実させる	A	心理士による巡回相談を活用して園内研修を行い、環境整備を進めている。援助の必要な子どもに向けた掲示をいろいろと用意していただけています。
3	多くの経験を得られるよう教育課程や行事を見直す。 1. 教育活動に、外部のスイミングスクールでのプール指導の導入。 2. 総合的な運動活動として遊具にストライダーの導入。	A	ストライダーの導入をしてもらい、とてもよかったです。普段の遊びの中で、ストライダーで安全に遊びながら運動能力を身につけられ、良かった。簡易的なプールではなく、スポーツクラブのプールで指導を得られることは、子どもにとってとてもありがたかったです。プールの専属コーチと接して指導を受けられる機会がよかったです。